

お世話になっているおじいちゃん、おばあちゃんへ

感謝を伝える敬老の日

お月見団子を作ろう!!
十五夜

昼と夜が同じ長さになる日

秋分の日

十五夜

お月見団子を作ろう!!

十五夜とは、**旧暦の毎月15日の夜のこと**です。

- 子どもに伝えたい!十五夜と関係が深い3つのもの -

ススキ

ススキの鋭い切り口には、悪霊や災いから収穫物を守る意味が込められています。一般的にお月見団子の横に飾るため、3~5本ほどがよいとされています。

お月見団子

団子を月に見立て、月に収穫を感謝し翌年の豊作を祈願します。

お月見団子の数や積み方にも種類があり、十五夜は15個もしくは十五夜の一の位をとって5個、または1年に訪れる満月の回数である12個(うるう年は13個)をお供えます。

お月見団子のお供え方法は、三方という台に白い紙を敷き、「**ピラミッド型に並べる**」のが正式です。収穫の感謝や祈願を月の神まで届けるという意味になります。

うさぎ

神話の一節の解釈に「うさぎこそ仏陀の前世である」ことが日本に伝わったという背景から、月にうさぎがいると言われるようになりました。

月の中でうさぎが餅つきをしている理由として、「食べ物に困らないように」「神のために食べ物を用意するため」という説がよく聞かれます。

感謝を伝える敬老の日

お世話になっているおじいちゃん、おばあちゃんへ

9月18日は、敬老の日。

「**多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う**」日と定められています。

日頃の感謝を込めて
おじいちゃん、おばあちゃんへ思いを伝えよう!!

子どもと一緒に!敬老の日を楽しむアイデア

○ 手作りアイテムをプレゼントする

小物入れやお守り、ビーズを通したストラップやキーホルダーなど、発想次第でさまざまなものが作れます。

子どもの写真を収めた手作りのフォトブックをプレゼントすれば、子どもの成長を感じてもらえますね。

○ 手作りチケットをプレゼントする

肩たたき券やマッサージ券、お掃除券、おつかい券など、アイデア次第でさまざまなチケットが作れます。

敬老の日以降に、おじいちゃんおばあちゃんと子どもが交流を持つきっかけにもなります。



秋分の日

昼と夜が同じ長さになる日

秋分の日には「ご先祖様に感謝し、供養する」日です。

秋分日には、太陽が真東から昇り、真西に沈むため、**昼と夜の長さがほぼ同じになります**。そして、この日を境に冬にかけて夜の時間が長くなります。

秋分の日にはおはぎを食べたり、仏壇にお供えしたりする風習があります。

秋のお彼岸におはぎを供えるようになった理由はいくつかありますが、小豆には邪気を払う効果があると伝えられていたからと言われています。

昔は貴重であった砂糖を使ったおはぎをお供えすることで、より感謝の気持ちを伝えることにつながると考えられていたそうです。

